

重点項目についての環境配慮概要					内訳対応項目					
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。										
“ストップ温暖化しずおか行動計画”の推進(Gloval Warming)										
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策)/④部品・部材の耐用年数 主要内装仕上げをビニルクロス、EP塗、化粧プラスターボードとする				Q-1	2	2.1	2.1.3	①	外皮性能
					Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備
							3.2	3.2.2	③	昼光制御
					Q-2	2	2.2	2.2.1	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔
								2.2.2	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔
								2.2.3	④	配管・配線材の更新必要間隔
								2.2.4	④	主要設備機器の更新必要間隔
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)				Q-3	1			⑤	生物環境保全と創出
						3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
	■エネルギー対策 (⑦建物の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) PAL*のレベル -21% 太陽光発電 エネルギー監視システム				LR-1	1			⑦	建物の熱負荷抑制
					2	2.1		⑧	自然エネルギー直接利用	
						2.2		⑧	自然エネルギー変換利用	
					3			⑨	設備システムの高効率化	
					4	4.1		⑩	モニタリング	
						4.2		⑩	運用管理体制	
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫低環境負荷材) 節水型便器、自動水栓 外装:ALC+塗料、二重天井により部材の再利用可能性確保 ハロン消火未使用				LR-2	1	1.1		⑪	節水	
						1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム	
							1.2.2	⑪	雑排水利用システム	
					2	2.1	2.1.1	⑫	躯体材料の再利用効率	
							2.1.2	⑫	非構造材料の再利用効率	
						2.2		⑫	持続可能な森林から産出された木材	
						2.3		⑫	有害物質を含まない材料	
						2.4		⑫	既存建築躯体などの再利用	
						2.5		⑫	部材の再利用可能性	
					2.6	2.6.1		⑫	消火剤	
						2.6.2		⑫	断熱材	
						2.6.3		⑫	冷媒	
■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善)				LR-3	5			⑬	温熱環境悪化の改善	
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)										
	■サービス性能対策 (⑭耐震・免震/⑮信頼性) ⑭地域係数Z=1.2、用途係数I=1.25 節水型便器、井水利用 非常用発電機				Q-2	2	2.1	2.1.1	⑭	耐震性
								2.1.2	⑭	免震・制振性能
							2.4	2.4.1	⑮	空調・換気設備
								2.4.2	⑮	給排水・衛生設備
								2.4.3	⑮	電気設備
								2.4.4	⑮	機械・配管支持方法
								2.4.5	⑮	通信・情報設備
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)										
	■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり) 階高3.95m以上				Q-2	1	1.1	1.1.3	⑯⑰	ユニバーサルデザイン計画
						3	3.1	3.1.1	⑱	階高のゆとり
								3.1.2	⑱	空間の形状・自由さ
	■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮)				Q-3	3	3.1		⑲	地域性への配慮、快適性の向上
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)										
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑳まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)				Q-3	1			⑤	生物環境保全と創出
						2			㉑	まちなみ景観への配慮
						3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
	■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善)				LR-3	5			⑬	温熱環境悪化の改善